

過疎地域持続的発展 優良事例表彰制度の概要

今日、過疎地域では、人口減少、少子高齢化の進展など他の地域と比較して厳しい社会経済情勢が長期にわたり継続しており、地域社会を担う人材の確保、地域経済の活性化、情報化、交通機能の確保及び向上、医療提供体制の確保、教育環境の整備、集落の維持及び活性化、農地、森林等の適正な管理などが喫緊の課題となっています。

一方で、過疎地域は、食料、水及びエネルギーの安定的な供給、自然災害の発生の防止、生物の多様性の確保その他の自然環境の保全、多様な文化の継承、良好な景観の形成などの多面にわたる機能を有し、これらが発揮されることにより、国民の生活に豊かさと潤いを与え、国土の多様性を支えています。

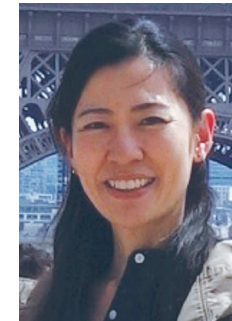
こうした中で、過疎地域の課題の解決に資する動きを加速させ、これらの地域の自立に向けて、過疎地域における持続可能な地域社会の形成及び地域資源などを活用した地域活力の更なる向上が実現するよう、全力を挙げて取組むことが極めて重要です。

本制度は、地域の持続的発展と風格の醸成を目指し、過疎地域において課題の解決に取り組み、創意工夫が図られている優良事例について表彰を行います。

令和3年度表彰委員会委員（敬称略）



委員長 **宮口 侗迪**
早稲田大学
名誉教授



委員 **秋田 典子**
千葉大学大学院
園芸学研究科
教授



委員 **指出 一正**
株式会社 sotokoto online
代表取締役
『ソトコト』編集長



委員 **図司 直也**
法政大学
現代福祉学部
福祉コミュニティ学科
教授



委員 **平尾 由希**
株式会社 FOODSNOW 代表取締役
フードコーディネーター

委員長講評

宮口 侗迪

この表彰制度は平成2年度から始まり、今年度で32回目を数えます。私は平成12年の第4次過疎法制定のころから委員として参加し、この間多くの表彰地域を訪ねることができました。今年度は5人の委員が、コロナ禍のためオンラインの現地調査を行い、総務大臣賞3団体、連盟会長賞6団体を選ばせていただきました。

総務大臣賞に輝いた兵庫県朝来市の与布土地域自治協議会は旧小学校区ですが、6つの部会の多彩な活動を基本に、25年後を想定した活気ある地域像に向かって、太陽光発電、マルシェやカフェなど若者の活躍の場、農業体験や交流事業など、極めて多彩な活動を地域という基盤の中で展開され、これこそ地域づくりの王道といえます。同じく徳島県吉野川市の美郷宝さがし探検隊は旧村時代に結成され、合併後にはNPO法人として天然記念物をテーマにした美郷ほたる館の指定管理者となり、ほたる祭り、貴重な段畑の石積みのライトアップ、川遊び体験、梅酒まつりなど、活動は多岐にわたります。メンバーの高齢化の中で、若い世代を中心に新しいNPOが結成されて連携が始まった点を、特に評価したいと思います。続いて高知県土佐町のいしはらの里協議会も旧小学校区ですが、県が進めている集落活動センターの一環で設立され、合同会社で生活用品と石油の直販などの生活支援を進めただけでなく、林業人材も育っています。「いしはらの里未来会議」での移住者を含む活発な提案が、組織の再編を含め新しい展開を生んでいることも高く評価できます。

連盟会長賞に輝いた鮭の町北海道標津町の商工会女性部は、高齢者や子供の見守りなどで地域を支えることに加え、不振のサーモン科学館でのワインと標津町の食を堪能するイベントを思い立ち、科学館に人を集めてその価値をアピールすることにチャレンジしました。コロナ下で昨年从中止となりましたが、復活後の更なる展開を期待します。高知県香美市のNPO いなかみは、自然が豊かでかつ市街地へのアクセスも兼ね備える地域で市立移住定住交流セン

ターを運営し、子育て世帯への支援も手厚く、多くの移住実績を挙げています。魅力ある移住応援サイトは新しい道具 SNS の効力をいかに発揮しており、柔らかな真摯な対応が大きな移住実績につながっています。福岡県八女市の大洲区では、途絶えた夏祭りに代えて、手づくりの大きな灯籠に亡き人の名を書き、100個近くをお盆の夜空に高く上げる幻想的な祭りを創造しました。加えて、彼岸花が咲き誇る棚田を復活して無農薬米も完売するなど、地域の価値に目覚めた世代を超えた活動が育ちつつあります。佐賀県唐津市のからつ七つの島活性化協議会は、うち4島で「ななつの島で宝さがし留学」を開始し、すでに26名が留学しています。離島がネットワークを組んで共同作業のしくみを確立したことは稀有なことで、将来の強力な関係人口の基盤となります。島での「生きる教育」の価値は計り知れません。高齢化した集落で70歳を超える5人の女性たちが結成した宮崎県美郷町の渡川いこいの郷加工グループは、「渡川マンマ」という略称で高齢者40世帯に配食サービスを続けてきました。研修や地元で学んでのおかずの工夫や、配達時の声掛けや見守りなど、小さな集落の高齢者の貴重な活動として頭が下がります。沖縄県宮古島市の狩俣自治会は、役員の若返りを機に、中高生を含むワークショップで地域ビジョンを策定して高校生の通学と高齢者の通院にEV輸送を導入し、保育園の復園を実現しただけではなく、小さな拠点づくり事業で地元業者への発注で経済循環を図っています。沖縄特有の共同売店や字有地がある土地柄で、地域まるごと活性化が着実に進んでいます。

今年度の表彰団体は、市町村の中の旧村や旧小学校区、地区といった小さな単位での活動が目立ちました。人と人の絆がよい形で育ち、そこに関係人口が加われば、人口減少は恐れることはありません。過疎地域なればこそ可能な取組みが人の力で育ち得るのです。顔が見える小さな社会で、都市にはない価値を生み出しておられる表彰団体に心から敬意を表し、講評とさせていただきます。

都道府県からの推薦

表彰委員による書類審査

- 地域の持続的発展・活性化について、先駆的・モデル的取組といえるか？
- 地域資源を活用し、地域の魅力を一層高めるものであるか？
- 地域の自主的・主体的な取組であり、住民の積極的な参加・連携が図られているか？
- 相当期間活動が継続し、その効果が既に定着していると考えられるか？

表彰委員による現地調査

表彰委員会による
優良事例の決定

表彰式

日 時：令和3年11月4日（木）10時30分
（オンラインにて開催）